

平成21年度芦屋市立休日応急診療所運営協議会会議録

日 時	平成22年3月24日(水) 13:00~14:00
会 場	芦屋市医師会医療センター 2階会議室
出席者	会 長 北井 明 委 員 安住 吉弘 委 員 仁科 睦美 委 員 小林 清史 委 員 金山 良男 委 員 磯森 健二 委 員 市川 武夫 欠席委員 鈴木 紀元 事務局 北口 泰弘 瀬戸山 敏子
事務局	健康課
会議の公表	公 開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

(1) 会長挨拶

(2) 議題

- ・平成20年度決算及び平成21年度の状況について
- ・平成22年度予算について

(3) その他

2 提出資料

資料1 平成20年度休日応急診療所決算額内訳

資料2 芦屋市立休日応急診療所診療日報合計(20年度総合計)

資料3 平成21年度休日応急診療所決算額(見込)

資料4 芦屋市立休日応急診療所診療日報合計(21年度総合計)

資料5 平成22年度休日応急診療所予算額内訳

3 会議経過

【開会】

(北井会長) それでは会議を始めたいと思います。昨年は新型インフルエンザの1年間でした。

事務局、議題について説明してください。

(事務局北口) 平成20年度芦屋市立休日応急診療所の決算及び受診状況についてご説明します。

(資料1及び資料2の説明)

引き続きまして、平成21年度の直近までの決算見込状況及び受診状況についてご説明します。

(資料3及び資料4の説明)

(北井会長) ただいまの事務局からの説明について各自ご意見はありますか。

資料3及び資料4については2月末現在のため11か月分ということですね。

(事務局北口) そのとおりです。それでは引き続いて平成22年度芦屋市立休日応急診療所の予算額(案)についてご説明します。

(資料5の説明)

- (北井会長) 全般についてご意見はありませんか。
- (北井会長) 新型インフルエンザの影響で患者数がたくさん増えたことで赤字も少なくなったが、喜んでいいのか悲しんだらいいのか複雑です。何か先生方ご意見はありませんか。
- (安住委員) 新型インフルエンザは若年者の患者数は多いと思うが受診者の内訳を見ると%としては意外と差が出ていないですね。
- (北井会長) 小児の救急・入院にしてもそうだが、高齢者も優先されたが、今後はどうなるかわからずいろいろと考えさせられます。
- (安住委員) 15～20歳で区切るとまた違うかもしれません。
- (事務局北口) 新型インフルエンザは診療所日報の呼吸器の区分に含まれていますが15から40歳はわりと多くなっており、41歳からはだんだんと減ってきている状況です。
- (北井会長) 新型インフルエンザは、罹患した子どもを世話するからか女性の患者が若干多いというデータもあり、受診の傾向もそのようになっています。第二次転送では何か問題はありましたでしょうか。
- (事務局北口) 阪神南圏域で、特に芦屋市から搬送された方について問題があったとは聞いていません。
- (北井会長) 搬送先はどうでしたか。
- (事務局北口) 芦屋病院への搬送が一番多いです。
- (北井会長) 三次がないのでほとんどが芦屋病院でした。
- (金山委員) 新型インフルエンザ患者の受け入れ側としては、途中までは一次の問い合わせが多かったの、病院側のスタッフの対応の仕方も変えました。インフルエンザが下火になるにつれて本来の二次の業務に専念できました。
- (北井会長) 話題が変わるが小児の二次・三次の体制で、一次から搬送するときには保護者に入院の可能性があることを説明してほしい。芦屋病院から市に何か要望はありますか。
- (金山委員) 特にありません。昨年パニックはもうないと思います。来年度から病院の工事が始まるし落ち着いてくればと思います。結果的には弱毒性でしたが、今後も考えていかなければならないと思います。
- (北井会長) 強毒性についても検討しておく必要はあります。
- (事務局北口) 小児の二次救急は土曜日の夜は受け入れできますか。
- (金山委員) 大丈夫です。
- (北井会長) 夜から月曜の朝まで大丈夫ですか。
- (金山委員) 大丈夫です。
- (北井会長) 阪神南圏域の輪番制で、芦屋病院は土曜の夕方5時から月曜の朝9時までとなっています。5月2日の宿直だけがまだ決まっていますが、どうしてもだめなら塚口病院になります。
- (市川委員) 輪番制をベースに救急は動いています。芦屋病院との医療推進会議を持ち、土曜夕方5時から月曜朝9時の受け入れはうまくできています。川西や宝塚からの方もよく運んでいます。阪神北圏域の病院に連絡しても受け入れられないので芦屋にかけてくることが多いです。受け入れ可能であれば受け入れたいですし、救急としては芦屋に小児科があることは嬉しく思います。
- (北井会長) たらい回しの問題ですが、県の意向として130分以上、10件以上ことわられたら三次にまわしてよいが、実際には5～6件でつながっています。三次で総合科があるところは兵庫医大で、昨年秋から医師が小

児科に移り、兵庫医大で小児救急もよく見てもらえます。長時間搬送しなければいけないことはないですか。

(市川委員) ほとんどありません。検索して受入れ状況を調べています。平均すると1.39回の問い合わせでいけるが、多いときには20回を超えることもあり、時間にすると30～40分ほどです。病院に連絡する者と、患者・家族に説明する者と役割をわけ、一回一回説明していることから車内でトラブルはありません。

(北井会長) 納得してもらえようしておかなければいけません。

(市川委員) 受入れ状況の問い合わせが20回以上となるような場合は精神疾患の場合が多いです。昨年精神疾患患者でリストカットをしたケースは、いったん南芦屋浜病院で処置だけなら先にしますと受け入れてもらい、その間に病院を探しました。問い合わせ件数が15～20件と多いのは特殊なケースです。

(北井会長) 精神疾患の患者にも、できる処置はしており、風通しがよくなっていると感じます。

(小林委員) 南芦屋浜病院では昼間は絶対に断れません。先ほどの精神疾患患者も受け入れ先を探すということで受け入れた。夜間は当直医の関係で受け入れられないこともあります。セントマリア病院も救急を扱うということで増えています。医師会には3病院で集まって会議することを申し出ています。

(小林委員) 市内の救急3病院で、半数以上は市内で受入れしているが以前より減ってきています。なんとか市内3病院で受け入れられるようにしたいです。

(北井会長) 新型インフルエンザでは、薬剤師会には夜間にも迷惑をかけたと思いますが。

(仁科委員) タミフルの処方についてあらかじめ用意しておきました。大勢で作業すると間違いが起こるといけないので、特定の数で作業していました。

(北井会長) 薬剤師会にはかなり貢献していただいて、ありがとうございます。

(市川委員) 平成20年度末から救急車に正しい救急車の利用のステッカーを貼ったところ、平成21年度の受診者数は増えたので効果があったかなと思っています。

(北井会長) タクシー代わりに救急車を使うことはあまり減っていないので、啓発していかなければいけません。

(市川委員) 市としてもPRしています。

(北井会長) 兵庫医大が手術中などの情報を不定期に更新しており、「オペ中」と表示が出ていてもあと少しで終わることがあるので問い合わせてくださいと病院からは言われています。病院との良い関係ができていくのではないかと思います。以上でよろしいでしょうか。

(北井会長) その他事務局から何かありますか。

(事務局北口) 特にありません。

(北井会長) それでは、これで本日の運営協議会を終わります。

【閉会】